

Doboku information



令和5年度 定時総会開催

実施日：令和5年5月29日(月)

当会は5月29日(月)、港区元赤坂の明治記念館「蓬莱の間」において、令和5年度定時総会を開催。議決事項として、令和4年度事業報告・決算報告、ならびに令和5年度事業計画(案)・収支予算(案)がそれぞれ承認された。また議事終了後、優良技術者表彰式(詳細はP10に掲載)を執り行った。



第1号議案 令和4年度事業報告並びに同決算報告に関する件

1 技術力向上に関する支援事業

(1) 各種研修会・講習会等の実施

若手技術者の育成や会員技術者の技術力向上のための研修会・講習会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、その多くをオンライン開催とし、全22回開催した。

① 若手技術者のための支援

- 建設業新入社員研修会〔共催〕
【第1回】4月5日 [オンライン](#)
【第2回】4月6日 [オンライン](#)
- 新入社員半年フォロー研修会〔共催〕
【第1回】【第2回】10月27日
【第3回】【第4回】10月31日
- 若手社員(3年次～5年次)フォロー研修会〔共催〕
【第1回】【第2回】11月17日 [オンライン](#)

② 土木施工管理技士資格取得のための支援

- 1級 第一次検定 受験準備講習会 2日間講習〔共催〕
6月2日～3日 [オンライン](#)
- 1級 第二次検定 受験準備講習会〔共催〕
9月1日～10月2日 [オンデマンド配信](#)

(2) 土木工事現場の視察

- 上曾トンネル本体工事(桜川工区) 5月18日 [オンライン](#)
- 北区赤羽台一丁目 赤羽西四丁目付近枝線工事 9月22日
- 品川駅構内環状第4号線交差部新設他工事 1月25日

(3) 異業種他分野等各種施設の視察

- 首都圏外郭放水路見学会 12月9日

③ 基礎的な技能習得のための支援

- 安全管理講習会 4月15日 [オンライン](#)
- 原価管理講習会 6月22日 [オンライン](#)
- コンクリート施工技術講習会〔共催〕 7月13日
- 環境管理講習会 10月19日

④ 総合的な技能習得のための支援

- 現場管理スキルアップ講習会 5月13日 [オンライン](#)
- 現場代理人の折衝力強化研修会〔共催〕 6月23日 [オンライン](#)
- 道路トンネルにおける維持管理セミナー 7月27日 [オンライン](#)
- BIM・CIMと原価管理セミナー 8月25日 [オンライン](#)
- 工事成績評価アップセミナー 9月29日 [オンライン](#)
- コンクリート維持管理技術講習会(上級編) 2月 3日 [オンライン](#)
- 現場の失敗に学ぶ 2月17日 [オンライン](#)
- 建設業の働き方改革セミナー 3月 3日 [オンライン](#)



令和5年度 定時総会開催

2 関係法令・制度・行政施策等の情報提供

(1) 法改正等に伴う説明会の実施

- 建設業の取引適正化に関する説明会(共催) 10月26日 [オンライン](#)

(2) 入札契約に関する説明会の実施

- 関東地方整備局入札・契約制度に関する説明会(共催) 6月15日 [オンライン](#)
- 東京都入札・契約制度に関する説明会(共催) 7月20日 [オンライン](#)

3 広報事業

(1) 若年者への魅力ある建設業のPR

若者への建設業のPRと会員企業の人材確保の一助となるよう、主に大学生を対象にインターンシップと業界研究のイベントを東京建設業協会と共催した。

- 「みんなの建設業☆インターンシップ&業界研究フェスタ」開催(共催) 9月 6日～ 7日 [オンライン](#)
9月29日～2月24日 [オンデマンド配信](#)

(2) 一般向けの理解促進に関する事業

- 隅田川・東京港橋梁見学クルーズ 8月 5日

(3) 機関誌「DOBOKU技士会 東京」の発行

機関誌「DOBOKU技士会 東京」を年4回発行し、会員及び関係行政機関・建設関係団体等に配布した。

- 第89号(令和4年4月) 第91号(令和4年10月)
- 第90号(令和4年7月) 第92号(令和5年1月)

(4) 土木施工管理に関する情報収集及び提供

講習会・見学会の開催案内をはじめ、メールとホームページ、機関誌を活用して情報を提供し、利便性の向上に努めた。

4 調査研究

講習会で使用するテキストの作成及び研究をはじめ、講習会受講者アンケートや現場見学会受入れ調査などを実施した。

- 現場見学受入れ先調査
- 事業運営に必要な各種調査の実施

5 表彰

- 優良技術者表彰の実施 会員から推薦された優良技術者117名を表彰した。
- 各種表彰候補者の推薦 優良技術者表彰の中から12名を(一社)全国土木施工管理技士会連合会が行う表彰に推薦した。

6 連絡協議

(1) 関係行政機関・関係団体との連絡協議

関係行政機関・建設関係団体をはじめ、各地方技士会、(一社)東京建設業協会等と随時情報交換を行った。

7 会議

(1) 総会

【定時総会】5月24日

議決事項

- ① 令和3年度事業報告並びに同決算報告に関する件 ② 令和4年度事業計画(案)並びに同収支予算(案)に関する件
- 【優良技術者表彰】117名

(2) 理事会

【第1回 理事会】5月24日

- ① 令和3年度事業報告並びに同決算報告に関する件 ② 任期満了に伴う役員候補者の選出に関する件

【第2回 理事会】3月22日

- ① 令和5年度事業計画(案)に関する件 ② 令和5年度収支予算(案)に関する件

(3) 監事会 4月14日

- ① 令和3年度事業報告に関する件 ② 令和3年度決算報告に関する件

8 委員会

(1) 総務委員会

【第1回 総務委員会】 12月15日

- ① 令和4年度会員の異動状況と収入状況について
- ② 令和4年度事業の実施状況について
- ③ 令和4年度事業の今後の予定について

【第2回 総務委員会】 3月15日

- ① 令和5年度事業計画(案)について
- ② 令和5年度収支予算(案)について
- ③ 理事会・定時総会(予定)

(2) 事業運営委員会

【第1回 事業運営委員会】 12月6日

- ① 令和4年度事業の実施状況について
- ② 今後の事業予定について
- ③ 優良技術者表彰について

【第2回 事業運営委員会】 3月9日

- ① 令和5年度事業計画(案)について
- ② 令和5年度優良技術者表彰について
- ③ 令和5年度理事会・定時総会(予定)

事業運営は「講習会」「現場視察」「情報・広報」3つのグループ会議にて企画から検討のうえ実施

令和4年度収支報告書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

I. 収入の部

(単位：円)

勘定科目	予算額	決算額	差異
大科目			
会費収入	33,300,000	33,524,010	△ 224,010
入会金収入	100,000	129,000	△ 29,000
事業収入	5,200,000	4,976,084	223,916
雑収入	100,000	23,693	76,307
当期収入合計(A)	38,700,000	38,652,787	47,213
前期繰越収支差額	11,120,000	11,186,352	△ 66,352
収入合計(B)	49,820,000	49,839,139	△ 19,139

II. 支出の部

(単位：円)

勘定科目	予算額	決算額	差異
大科目			
事業費	29,050,000	27,022,088	2,027,912
管理費	9,050,000	7,874,216	1,175,784
引当預金支出	400,000	400,000	0
積立預金支出	1,000,000	1,000,000	0
予備費	1,000,000	0	1,000,000
当期支出合計(C)	40,500,000	36,296,304	4,203,696
当期収支差額(A) - (C)	△ 1,800,000	2,356,483	△ 4,156,483
次期繰越収支差額(B) - (C)	9,320,000	13,542,835	△ 4,222,835





令和5年度 定時総会開催

第2号議案 令和5年度事業計画(案)並びに同収支予算(案)に関する件

1 技術力向上に関する支援事業

- (1) 各種研修会・講習会の実施
 - ① 若年技術者のための支援(共催) 4回
 - ② 1級土木施工管理技士資格取得のための支援(共催) 2回
 - ③ 基礎的な技能習得のための支援 5回
 - ④ 総合的な技能習得のための支援 7回
- (2) 土木工事現場の視察 2回
- (3) 異業種他分野等各種施設の視察 1回

2 関係法令・制度・行政施策等の情報提供

- (1) 法改正等に伴う説明会の実施
- (2) 入札契約に関する説明会の実施

3 広報事業

- (1) 若年者への魅力ある建設業のPR事業
- (2) 一般向けの理解促進に関する事業
- (3) 機関誌「DOBOKU技士会 東京」の発行(年4回)
- (4) 土木施工管理に関する情報収集及び提供

4 研究調査

- (1) 現場見学受入れ先調査
- (2) 事業運営に必要な各種調査の実施

5 表彰

- (1) 優良技術者表彰の実施
- (2) 各種表彰候補者の推薦

6 連絡協議

- (1) 関係行政機関・関係団体との連絡協議

7 連絡協議

- (1) 総会
 - ① 定時総会
 - ② 臨時総会
- (2) 理事会
- (3) 監事会

8 委員会

- (1) 総務委員会
- (2) 事業運営委員会
 - ① 講習会グループ会議
 - ② 現場視察グループ会議
 - ③ 情報・広報グループ会議

令和5年度収支予算

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

I. 収入の部

(単位：円)

勘定科目	令和5年度 予算額	令和4年度 予算額	増減
大科目			
会費収入	34,000,000	33,300,000	700,000
入会金収入	150,000	100,000	50,000
事業収入	4,700,000	5,200,000	△ 500,000
雑収入	100,000	100,000	0
当期収入合計(A)	38,950,000	38,700,000	250,000
前期繰越収支差額	13,780,000	11,120,000	2,660,000
収入合計(B)	52,730,000	49,820,000	2,910,000

II. 支出の部

(単位：円)

勘定科目	令和5年度 予算額	令和4年度 予算額	増減
大科目			
事業費	30,330,000	29,050,000	1,280,000
管理費	9,840,000	9,050,000	790,000
引当預金支出	400,000	400,000	0
積立預金支出	1,000,000	1,000,000	0
予備費	500,000	1,000,000	△ 500,000
当期支出合計(C)	42,070,000	40,500,000	1,570,000
当期収支差額 (A) - (C)	△ 3,120,000	△ 1,800,000	△ 1,320,000
次期繰越収支差額 (B) - (C)	10,660,000	9,320,000	1,340,000

講演会

定時総会の後、会場を「末広の間」に移し講演会が開催された。講師にスポーツジャーナリストの瀬戸口氏を招き、コミュニケーションスキル向上のための手法を学んだ。

ウィズコロナ、アフターコロナのコミュニケーション術

— スポーツジャーナリストの相手心理の見抜き方 —

良好な人間関係構築のために、コミュニケーション能力は必須項目といえる。しかし、約3年あまりにおよんだコロナ禍により、その力を磨く場も減少しつつある。今回は、スポーツジャーナリストとしてさまざまなアスリートを取材してきた瀬戸口氏から、円滑なコミュニケーションに必要な「信頼を得る」、そしてそのために重要な「話を聞く」といった能力を身につける方法を紹介していただいた。

■ 信頼関係を築く、雑談のススメ

コミュニケーションにおいて重要な信頼関係を得るために、まず相手のことをしっかりと知る必要がある。それには相手が今何を思い、どんなことを話したいのかを把握することが大切だ。そのために、何気ない雑談から仕事や趣味などの共通項を見つけ、話を広げながら、傾向や趣向を感じ取ることを心掛けていく。また、何気ない会話も取材同様、準備の上で臨むことも重要である。

■ 相手を知るために、「聞きだす力」を身につける

日々の会話のなかで、すぐに実践できる「取材」テクニックを

講師

せとぐちひとし

瀬戸口 仁

スポーツジャーナリスト
(一社)日本アンガーマネジメント協会認定
アンガーマネジメントファシリテーター



スポーツ新聞社でプロ野球を11年間取材、米ニューヨークでメジャーリーグを始めとした多くのアスリートを13年間取材。35年以上のジャーナリスト経験をもとにした多くのテーマで、講演、セミナー、研修を全国で行っている。講演テーマは「怒りを味方につける9つの習慣」「アスリートにおける正しいゴール(目標)設定の仕方」「人間関係構築力」「ウィズコロナ、アフターコロナのコミュニケーション術」など。

紹介。うなずく、相槌をうつといった基礎的なことから、相手が話しやすい状況をつくる技術も解説。アスリートへの取材で培った幅広い手法を駆使したコミュニケーションスキルを、実際に体験しながら学んだ。



相手との距離を縮める、「会話のコツ」を伝授する瀬戸口氏

(一社)東京建設業協会・東京土木施工管理技士会 合同懇親パーティー

定時総会終了後、講演会を挟んで「富士の間」にて17時30分から(一社)東京建設業協会と合同の懇親パーティーが開催された。はじめに主催者を代表して、同協会の今井雅則会長より挨拶が述べられた。続いてご来賓の自由民主党東京都支部連合会から高島なおき幹事長、丸川珠代会長代行、朝日健太郎参議院議員、生稲晃子参議院議員、東京都議会各会派から東京都議会自由民主党・三宅正彦幹事長、都議会公明党・東村邦浩幹事長、都

民ファーストの会東京都議団・滝口学幹事長、東京都から中島高志東京都技監らより祝辞を賜った。寺田会長の音頭で乾杯が行われ懇親パーティーがスタートすると、各会員は久しぶりの歓談を楽しんでいた。新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの開催となるパーティーは大盛況のうちに閉幕となり、この日のプログラムは滞ることなくすべて終了した。





会長挨拶



定時総会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

会員の皆さまには、ご多忙のところご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日頃より、当会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今月8日に、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に変更されました。ゴールデンウィーク期間中の活気や外国人観光客の増加などを見ますと、社会経済活動は、コロナ前を取り戻し、前進し始めたように感じております。

一方、建設業界では、資材価格の高止まりや納期遅れなどにより、我々の現場運営も大きな影響を受けており、今後の動向を注視していかなければなりません。

また、残り1年を切った時間外労働の罰則付き上限規制への適用をはじめ、人材の確保・育成、建設DXへの対応など、会員の皆様と知恵を出し合い、協力しながら、建設業界の山積する課題に取り組んでまいりたいと考えております。

ところで、今年は「関東大震災から100年」という節目の年にあたります。甚大な被害をもたらした大震災の復旧・復興において、我々土木技術者が少なからず貢献し、現在のまちづくりへと繋がっております。

近年、想定を超える大規模な自然災害がたびたび起こっており、国土の強靱化が急がれているところですが、我々は土木技術者として、引き続き、地震や集中豪雨などの自然

災害に強い首都・東京のまちづくりに尽力し、人々が安心して暮らせるサステナブルな社会の実現に向けて、日々挑戦していかなければなりません。

当会では、これからも会員の皆さまが、その使命を果たし、都民が安全で安心できる「都市基盤整備」に寄与できますよう、今年度の事業においても、技術力向上に資する各種講習会や現場見学会を実施するほか、関係団体と連携して、法令の改正や入札・契約制度に関する説明会などを開催してまいります。

さらに、将来を担う若者たちに、建設業の魅力を発信する広報活動にも努めてまいり所存であります。

会員の皆さまには、引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、本日は「令和4年度事業報告・決算報告」「令和5年度事業計画(案)・予算(案)」についてご審議いただいたのち、永年にわたるご功績を称える「優良技術者表彰」を執り行います。

また、総会終了後には、コロナ禍において開催を見送ってきた「講演会」と「懇親パーティー」を4年ぶりに開催いたします。

長時間にわたりますが、本日の総会が円滑に進行できますよう、皆さまのご協力をお願い申し上げます。開会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

東京土木施工管理技士会 会長 てらだみつひろ 寺田 光宏

副会長の選任

中林雅昭副会長(戸田建設株式会社)の退任に伴い、後任の副会長について会則に基づき理事会において審議の結果、清原啓太理事(戸田建設株式会社・常務執行役員土木工事統轄部長)が選任されましたので、ご報告いたします。なお、現在の役員は下記のとおりです。



副会長(戸田建設株式会社) きよはら けいた 清原 啓太

役員名簿

役 職	氏 名	所 属 会 社
会長(理事)	寺田 光宏	東急建設株式会社
副会長(理事)	清原 啓太	戸田建設株式会社
副会長(理事)	齊藤 武文	清水建設株式会社
理事	大田 正俊	あおみ建設株式会社
理事	藤本 明生	株式会社安藤・間
理事	大信田 秀治	オリエンタル白石株式会社
理事	吉弘 英光	鹿島建設株式会社
理事	小酒井 聡	株木建設株式会社
理事	久保田 泰史	株式会社熊谷組
理事	中村 俊智	五洋建設株式会社
理事	小川 典男	坂田建設株式会社
理事	三澤 早登志	佐藤工業株式会社
理事	坂本 明伸	大成建設株式会社
理事	岩崎 延宏	大豊建設株式会社
理事	大場 秀彦	鉄建建設株式会社
理事	舘下 章	東洋建設株式会社
理事	稲葉 靖規	飛島建設株式会社
理事	岩田 耕一	株式会社ナカノフドー建設
理事	難波 正和	西松建設株式会社
理事	澁谷 博志	日本道路株式会社
理事	林 清一	林建設株式会社
理事	篠原 博	株式会社フジタ
理事	小島 靖雅	前田建設工業株式会社
理事	大場 聡	三井住友建設株式会社
理事	久野木 哲也	みらい建設工業株式会社
理事	坂田 真一	個人会員
監事	島田 貴靖	ショーボンド建設株式会社
監事	長野 茂樹	常盤工業株式会社
監事	榎内 浩行	三井住建道路株式会社
常務理事	市川 光一	東京土木施工管理技士会



令和5年度 定時総会開催

表彰式

定時総会議事終了後、優良技術者表彰式を執り行った。受賞者【技術者表彰規程 第2条第2項該当者】135名、【技術者表彰規程 第2条第4項該当者】12名、【技術者表彰規程 第2条第5項該当者】5名を代表して、第2条第2項受賞者 鉄建建設株式会社 多田孝一 氏に、寺田会長より賞状と記念品が授与された。



寺田会長から彰状を受け取る多田氏



代表受賞者の多田孝一氏

令和5年度優良技術者表彰受賞者

【技術者表彰規程 第2条第2項該当者】135名

国・地方公共団体等が発注した工事で、当該団体から優良工事として表彰を受けた工事に、現場代理人、監理技術者等の立場で業務に従事し、特に優秀な成績をあげ、他の模範となる者

(氏名五十音順)

赤迫 史郎	信幸建設株式会社	汲田 晶也	三井住建道路株式会社	西村 俊輝	ショーボンド建設株式会社
浅田 徹	飛鳥建設株式会社	倉橋 祐紀	株式会社大本組	野口 真早仁	大林道路株式会社
猪狩 光二	株式会社ピーエス三菱	釘持 孝一	フジタ道路株式会社	長谷川 達也	成友興業株式会社
池谷 孝之	株木建設株式会社	河野 哲也	あおみ建設株式会社 東京支店	早川 博久	鹿島建設株式会社 東京土木支店
石井 大輔	株式会社ゼンテック	古閑 教詩	鉄建建設株式会社	林 大喜	大林道路株式会社
石川 玄	共立建設株式会社	小長井 大	五洋建設株式会社	廣瀬 陽祐	株式会社竹中道路
石戸 瑞穂	株式会社竹中土木	小林 光博	信幸建設株式会社	深津 勝行	日本道路株式会社 東京支店
伊藤 駿介	建装工業株式会社	小松 章良	鉄建建設株式会社	藤澤 武陽	株式会社富士土木
伊藤 大樹	大日本土木株式会社	古谷津 和希	フジタ道路株式会社	藤原 邦洋	戸田建設株式会社 関東支店
井上 秀一	株式会社本間組 東京支店	齊藤 慎一	株式会社ゼンテック	古川 寿秀	戸田建設株式会社 関東支店
岩田 忠雄	五洋建設株式会社	齋藤 勇太郎	常盤工業株式会社	逸見 正憲	三井住建道路株式会社
海沢 渉	株木建設株式会社	酒井 厚	株式会社ゼンテック	宝楽 誠	株木建設株式会社
海老原 雅彦	大林道路株式会社	酒井 博	オリエンタル白石株式会社	堀江 利也	岩田地崎建設株式会社
遠藤 秀和	日本道路株式会社 東京支店	佐々木 博文	東亜道路工業株式会社 関東支社	堀越 利之	共立建設株式会社
笈沼 洋一	株木建設株式会社	佐藤 公泰	常盤工業株式会社	前田 基貴	前田道路株式会社
大沢 至	大日本土木株式会社	佐藤 貢	株式会社竹中道路	松井 一真	坂田建設株式会社
大下 和男	日本道路株式会社 東京支店	志賀 武人	株式会社ゼンテック	松岡 達也	東亜建設工業株式会社
大杉 卓也	株式会社吉田組	篠田 吉弘	株式会社竹中土木	松崎 勲	前田道路株式会社
太田 裕之	大成建設株式会社 関東支店	嶋崎 翔太	ショーボンド建設株式会社	松永 潤正	株式会社竹中道路

大西 雅也	大成建設株式会社 関東支店	新屋敷 信彦	飛島建設株式会社	松元 拓磨	あおみ建設株式会社 東京支店
大場 大地	株式会社飛島	菅野 茂	オリエンタル白石株式会社	的場 一孝	東急建設株式会社
奥津 将亮	前田道路株式会社	杉本 高	清水建設株式会社	三上 貴彦	岩田地崎建設株式会社
尾崎 純	成友興業株式会社	杉山 正歩	株式会社NIPPO	三木 勲	東亜建設工業株式会社
尾崎 友哉	鹿島建設株式会社 東京土木支店	関口 秀一	岩田地崎建設株式会社	水口 修一	三菱化工機株式会社
小田 幸生	東亜道路工業株式会社 関東支社	園田 正和	株式会社NIPPO	水澤 隆	鉄建建設株式会社
小野 亨	オリエンタル白石株式会社	高桑 信	飛島建設株式会社	溝畑 瑠偉	東洋建設株式会社 関東支店
小野寺 貴浩	ショーボンド建設株式会社	高橋 利和	株式会社NIPPO	向山 諒祐	建装工業株式会社
小幡 毅	五栄土木株式会社	瀧山 和明	前田道路株式会社	森下 昌彦	株式会社竹中土木
片山 真文	ショーボンド建設株式会社	田代 浩之	鹿島建設株式会社 東京土木支店	師岡 翼	成友興業株式会社
勝又 真一	岩田地崎建設株式会社	多田 孝一	鉄建建設株式会社	矢代 義博	常盤工業株式会社
金田 一文	岩田地崎建設株式会社	達木 宗一郎	常盤工業株式会社	安居 和哉	東急建設株式会社
兼丸 宗胤	五栄土木株式会社	田中 忠昭	株式会社富士土木	山内 勇輝	五洋建設株式会社
狩野 圭介	大林道路株式会社	田村 康	成友興業株式会社	山口 翔平	成友興業株式会社
川崎 利生	株式会社吉田組	田村 佳之	共立建設株式会社	山口 祐樹	戸田建設株式会社 首都圏土木支店
川添 健央	大日本土木株式会社	津守 晋二郎	株式会社竹中道路	山口 洋一	株式会社富士ピー・エス 関東支店
川村 京平	株式会社竹中道路	徳丸 勲	三井住建道路株式会社	山本 峻太郎	東洋建設株式会社 関東支店
河村 竜太	株式会社NIPPO	中島 浩	株式会社安藤・間 関東支店	山本 利和	株木建設株式会社
川本 義博	三井住建道路株式会社	中根 啓吉	株式会社富士土木	山本 陽一	坂田建設株式会社
菊池 智洋	株式会社富士土木	中野 貴文	株式会社NIPPO	防村 弘幸	株式会社大本組
木村 健二	五栄土木株式会社	中村 智史	清水建設株式会社	横山 隆浩	常盤工業株式会社
木元 貴紀	前田道路株式会社	中村 雅高	福田道路株式会社 東京本店	吉岡 隆宏	大成建設株式会社 東京支店
忽那 惇	東亜建設工業株式会社	中矢 裕二	飛島建設株式会社	蓬田 義京	成友興業株式会社
工藤 志郎	株式会社竹中土木	中山 岳彦	株式会社竹中土木	渡部 潤	ショーボンド建設株式会社
工藤 拓未	大林道路株式会社	西川 眞哉	三井住建道路株式会社	渡辺 健太郎	松鶴建設株式会社 東京支店
國友 勇武	株式会社ピーエス三菱	西園 正貴	大日本土木株式会社	渡辺 勇次	オリエンタル白石株式会社

【技術者表彰規程 第2条第4項該当者】12名

土木施工技術に関する発明、実用新案、新技術の開発及び論文等に対し公的機関から表彰された者

(氏名五十音順)

荒井 匠	清水建設株式会社	長尾 裕貴	清水建設株式会社
池田 仲裕	東急建設株式会社	野中 隆博	東急建設株式会社
丑久保 吾郎	株式会社NIPPO	平佐 健一	鹿島建設株式会社 東京土木支店
大坪 宏行	清水建設株式会社	福田 毅	清水建設株式会社
垣見 康介	清水建設株式会社	山本 悟	西松建設株式会社
椎名 貴快	西松建設株式会社	渡部 知治	鹿島建設株式会社 東京土木支店

【技術者表彰規程 第2条第5項該当者】5名

土木施工管理技術を活かして災害復旧作業や調査等のボランティア活動に参加し公的機関等から表彰状、感謝状を受けた者、または個人として上記活動に参加した者

(氏名五十音順)

氏原 大助	ショーボンド建設株式会社	野口 和真	株式会社安藤・間 関東支店
北村 秀之	前田建設工業株式会社 東京土木支店	村尾 裕樹	株式会社安藤・間 関東支店
長井 健二	大成建設株式会社 関東支店		